

# 都道府県名：群馬県 団体名：東吾妻町

## 地域

東吾妻町は、群馬県の北西部にある吾妻郡の東南にあり、ハッ場ダムの直下流に位置しています。町内には岩櫃山や浅間隠山などがそびえ、周囲には1,000m級の峰々が連なっています。

国指定名勝「吾妻峡」を有する吾妻川をはじめ、日本名水百選に選定された「箱島湧水」もあり、水と緑に恵まれた自然環境の豊かな町です。

## 経緯

昭和27年5月にハッ場ダムが国指定名勝「吾妻峡」に建設されることが発表されると、地元住民からは観光振興への影響を懸念する声が上がりました。

これに対して東吾妻町(当時は吾妻町)が、地元住民と国や県の間に入って様々な役割を果たした結果、平成7年11月に「ハッ場ダム建設事業に係る基本協定書」を国及び県と締結し、ダム建設を大きく前進させました。

平成21年9月に国からダム建設中止が発表された際には、地元住民や1都5県知事と連携して中止撤回活動を展開し、平成23年12月にダム建設継続が表明されました。

こうして、予備調査着手から68年もの歳月を経てハッ場ダムが完成しました。

## 功績内容

ハッ場ダム建設による生活再建、地域活性化、観光振興への影響を懸念していた地元住民と国及び県との調整や、ダム建設が進む中で発表された建設中止に対する撤回活動など、ハッ場ダム建設による首都圏の重要な水資源開発に大きく貢献しました。

「ハッ場ダム水源地域ビジョン」に参画し、ハッ場ダム下流にある「吾妻峡」を堪能できる「自転車型トロッコ」や「遊歩道(ハイキングコース)」などの整備により、水資源とふれあう機会の創出に取り組んでいます。



H7 基本協定書締結



自転車型トロッコ



再建した猿橋



シャトルバス